

「第2回 高大連携 図書館情報交換会」議事録

平成20年9月9日

日 時 8月8日(金) 14:00～17:00
場 所 図書館3階(43セミナー室)
参加者 山北高校 越水博美 藤沢高校 田中豊美
湘北短期大学 岩崎 高橋 和田 林 (敬称略、順不同)
記 録 湘北短期大学 高橋

内 容

1. 図書館における高大連携プログラムの検討

前回の情報交換会で「絵本の読み聞かせ」「本の帯を作成」「他の生徒が評価」といった提案に注目が集まったことをふまえ、後期に向けた高大連携プログラムの内容について、下記の通り具体的な検討を行った。

【テーマ】高大連携土曜日特別授業「図書館でわくわくワーク」

【内 容】図書館のメディアを活用して、情報の選択、評価・分析、表現といった「情報活用」のプロセスをを体験的に学ぶワークショップ

第1回

- ① 図書館にある資料(絵本・雑誌など)から自分のお気に入りを見つける。
- ② 選んだ資料を参加者同士で紹介しあい、意見交換を行う。
(絵本の読み聞かせ、雑誌の見せびらかし)
⇒ 選んだ資料は、次回まで貸出可能とする。

第2回

- ③ 選んだ資料を推薦するためのPOPもしくは「本の帯」を作成する。
- ④ 発表会(コンテスト)
⇒ 優秀な作品には賞品(図書カード)を贈呈。

【日 時】全2回(各日2コマ)

※ 候補日 12月6日(土)、13日(土)

【定 員】30名程度

【会 場】湘北短期大学図書館3階 閲覧席

【講 師】各学科教員に依頼

コンテストの審査員についても別途検討の必要あり

2. 情報交換

(1) 各校の図書室の状況について

① 神奈川県立高等学校図書室の担当者会について

・ 神奈川県立学校図書館員の研究会

⇒ 年3回(春・夏・冬)、秋は見学会になることが多い

- ・地区会（県下）⇒ 学期に1回
 班会（地区会の中で、さらに分かれる）
 ⇒ テーマごとに別れて研究会を行う
 例：小中との連携、図書館の満足度調査、日常生活のレベルアップ
- ・県立図書館との相互協力
 ⇒ 4月に全体会、今年度は7月末と11月に研修会
- ② 高等学校での図書館利用状況について
 - ・館内での飲食・携帯電話の使用 ⇒ 注意のみ、ゴミ箱はカウンターにのみ設置
 - ・図書・雑誌の選定について
 ⇒ 選書方針は明確に決まっていない。
 先生からの選書も受け付けているが、なかなかリクエストがない。
 授業でよく利用してくれる先生の調べ学習のテーマに関する本は揃えておく。雑誌については、生徒を対象にアンケート調査を行って見直している。
 - ・マンガの所蔵状況について
 ⇒ 寄贈が多く、タイトル数は少ない。リクエストは受け付けていない。
 紛失が多いため、シリーズが揃わない。
 （タイトル例）バガボンド、ONE PEACE、名探偵コナン、NARUTO
 - ・ケータイ小説（横書きの本）について
 - ・利用ガイダンス、オリエンテーションについて
 - ・国語の時間 2クラス×3回 LibraryNavi で案内、アンケート調査
 AO入試の生徒向けガイダンス ⇒ OPAC や NDC の説明、調べ方の案内
 - ・国語の時間 30人×4クラス
 - ・図書委員の活動
 - ・有隣堂本店で選書ツアー
 - ・ダイナシティ伊勢治書店で選書ツアー、図書委員が選んだ本のコーナー
 ⇒ 高校生は忙しく、図書委員の活動もなかなか時間が合わない
- ③ 高校生は図書室をどのようにとらえているか
 - ・一人になりたいとき（保健室的な存在）、空き時間を持て余したとき、待ち合わせ場所
 ⇒ 本を借りるわけでもなく、図書室に滞在する利用者層がいる
 限られたスペースなので、授業で図書室を利用するときに問題となっている
 - ・勉強したい子は、図書室に足を運ばないのではないか
- (2) 高大連携プログラムの今後について
 - ・ボランティア団体におはなし会の指導をしてもらっている。保育学科で絵本の制作（ものづくり）とおはなし会を組み合わせたプログラムができないか。
 - ・夏休み中に開講しているカラーコーディネート講座に人気がある。資格取得につながるようなプログラムができないか。

3. 今後の予定について

- ・「図書館でわくわくワーク」最終日に第3回目の情報交換会を開催予定

以上